

ごあいさつ

一般財団法人地域創造では、文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくりを目的として、地方公共団体との緊密な連携の下に、地域における文化・芸術活動を担う人材の育成、公立文化施設の活性化支援、情報提供、調査研究などの事業に取り組んでいます。

こうした事業の一環として今年度は「地域と文化芸術をつなげるコーディネーター インタビューによる事例調査」を実施しました。この報告書は、その成果をとりまとめたものです。

「地域における文化・芸術活動を担う人材の育成等に関する調査研究」(H28年発行)から5年が経過し、文化芸術に関する法整備(「文化芸術基本法」「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」)やオリンピック・パラリンピックなど、前回調査から今日までの地域における文化芸術を取り巻く環境が変化し、劇場・ホール職員に求められるスキルが多様化しています。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からアーティストの県を跨いでの移動に制限が設けられ、各自治体での文化芸術活動が困難な状況となり、より一層地域と文化的なつながりを構築できる人材の育成が求められています。

本調査では、こうした現状と公立文化施設を取り巻く環境の変化を踏まえつつ、地域と文化・芸術のつなぎ役であるコーディネーターの活動を具体的に紹介することで、“これから”求められる人材のあり方について考察を行い、課題の整理や目指すべき将来像を検討することを目的として実施しました。とりわけ今回は、現場の状況や意向をしっかりと把握すべく、多くの方を対象に長時間にわたるインタビューを行い、またアドバイザーをはじめ関係者による座談会等を行いました。

この調査研究にあたり、多くの方々にご協力をいただきました。この場を借りて深く感謝申し上げます。

この成果が、地方公共団体や公立文化施設の職員の方々をはじめ、各地域で文化・芸術に携わる方々の参考となり、文化・芸術による創造的な地域づくりに活用されれば幸いです。

令和4年3月

一般財団法人 地域創造
理事長 山本 信一郎

